

芸文協だより

新年度初めに当たって

原町区芸文協会長 渡部 紀佐夫

今年も3月中旬を迎え、急に好天となり、温かさも増してまいりました。庭は梅の花から桜の花の便りへと足早に変わり、春爛漫も全国的に早まるようです。いつものように、4月は、学生は卒業から入学、社会人は異動、いずれも新たな出会いの季節です。

この時期思い出すのは、わが家でもそれなりにいろいろあったなあという思いです。2番目の孫が高校を卒業いたしました。大震災の発生した4月に小学校入学、しかも避難先ということ、子どもなりに気を遣い何度も保健室に行くようなことがあったこと、そしてあれからすでに12年、今その子たちが選挙権を行使する年齢になったのです。過ぎ行く年月の速さにただただ驚くばかりです。

さて、私どもの原町区芸文協は、大震災そして新型コロナウイルスに悩まされました。その中、一昨年からの施設管理者からの指導をいただき、会員・役員の協力のもと新型コロナウイルス対策をとり、文化祭を実施いたしました。今年こそは、もつと賑やかな文化祭を開催できるよう期待して準備を始めるところです。市民の皆様には、なお多数のご来場、応援いただければまことにありがたく存じます。

今年も、新型コロナウイルス対応も政府の方針は5月8日以降5類に引き下げとのこと、その前段に「マスク」使用は本人の判断に任せることとなりましたので、会員の日常活動がより活発に、楽しく過ごす時間がより多くなるよう願っております。

会員一同、日々一層の技倆向上に努め、存分にご披露できるように、頑張る決意を申し上げます。ごあいさついたします。

文芸・研究部門

◇南相馬市原町俳句連盟

「山笑う」という春の季語があるのをご存知でしょうか。自然を観察すると春の山は笑い、夏は青葉が滴り、秋の山は装い、冬は深々と眠ります。自然や時間は動きを止めません。

俳句を詠むことは、季節が循環する宇宙を一句に残すこと、あらゆるもののその一瞬を詠むのが俳句です。

現在、原町俳句連盟には「まどぬ・ひよんの木・寒梅・土筆・けやき」の各吟社があり、計画に沿って行動しています。

各吟社とも、会員募集中です。
▽Tel 090-1379-7818
(宮本みさ子)

◇はらまち史談会

郷土の歴史ほか、興味のあるテーマを話題にし、博物館や史跡を見学したり、文書を読んだりします。身近な地域に資料を集めて研修します。博物館の収蔵資料も覗いてみます。
現在、準備中です。
▽Tel 0244-23-4678

美術部門

◇幽美会

書道の会です。今年度の年間予定は次のとおりです。
・学習会 4月～1月 毎月1回

第2月曜 10時 ひばり生涯学習センター和室

その他必要に応じて開催
・第18回幽美会書展の開催
11月25日(土)

9時30分～17時30分

11月26日(日)

9時30分～16時

南相馬市民文化会館ギャラリー

・錬成会への参加

・市・県美展への出品参加の推進

・各種展覧会への積極的な出品参加並びに参観

・会員拡大

・交流会及び懇親会の開催

▽原町区大木戸字松島115-34

Tel 0244-22-4375
(佐藤)

音楽・演劇部門

◇原町謡曲同好会

(1)原町宝生会

会員 現在17名(男4名・女13名)
3社中があり、それぞれ稽古に励んでおります。

先輩たちの歩みは昭和20年の初めには鹿島・原町・小高の【宝生流】流友の方々と会を持ち、相馬中村への輪も広げ、「相馬宝生会」として多くの交流の会を開催し、古典芸能の謡曲を広げていただきました。

昭和61年1月「原町宝生会」として、会員数55名で結成されました。

会員交流を図り研鑽しながら楽しい会となっております。

このコロナ禍で「声を出すな・密になるな」の制限の中、つらい近年でした。

(肚)の底から声・息を出し健康長寿を目指し、また、古典芸能である能(謡曲・仕舞)の伝承・普及に繋がりたい。

▽原町区橋本町1-107

Tel 0244-23-2603

(2)観世流励調会

今年度上半期の予定は次のとおりです。

・毎週土曜日13時半から素謡と仕舞の稽古

ひばり生涯学習センター

・観桜会 素謡と仕舞 6月

ひばり生涯学習センター

・ゆかた会 素謡と仕舞 8月

原町生涯学習センター

◎見学はいつでも可能です。

▽Tel 090-6257-0661

◇野馬追相撲甚句会

大相撲では昔から相撲甚句が唄われました。私どもは、この歴史ある唄を受け継ぎ、毎年3月東京の発表会に参加し4月以降は、各種イベントに招かれて出演しています。そのために、

第2、4木曜日に高平生涯学習センターで定例会(練習)を実施しています。

公開していただきますので、いつでもお出でください。

▽原町区下太田字塚田17-2

Tel 0244-22-7055

(渡部紀佐夫)

◇原町女声合唱団

私たち原町女声合唱団は、今年で創立から48年になります。昨年はコロナ禍の中、2年遅れの『創立45周年記念演奏会』を浮舟文化会館で開催いたしました。

これからも二本松先生の楽しいご指導の下、50周年に向けて歌っていきたく思っております。

▽相馬市坪田字八幡前59-2
TEL 0244-3615896
(荒川)

◇原町メンネル・コール

本年度の上半期の行事予定は次のとおりです。

・サロン・コンサート2023
7月2日(日)浮舟文化会館
・第23回そうま地方合唱を楽しもう会合同発表会
9月3日(日)
新地町文化交流センター
(観海ホール)

▽原町区三島町2-101-2
TEL 0244-2315432

◇原町ひばりハーモニカ愛好会

わが会は発足22年目を迎えます。会員相互に協力し合い素晴らしい音色を奏でるべく練習に励んでおります。ハーモニカ演奏に興味のある方や無い方ともども、私たちとの音の楽しみを共有しませんか？

童謡・唱歌や懐かしい曲等幼い頃や若かった頃を想い出すべく、是非お出かけください。初心者も大歓迎です。

舞踊部門

▽相馬市中村字笹川41-19
TEL 090-4554-3998
(安倍 毅)

◇横山慶子舞踊学園原町スタジオ

創立67周年を迎えた当舞踊学園は舞踊を通し、情操を高めることを目的として、さまざまな洋舞を楽しくレッスンしております。

その中のひとつ原町スタジオは、モダンバレエ・クラシックバレエ・ハワイアンフラのレッスンを行ってまいります。
▽TEL 090-7662-1440
(郡 眞由美)

◇新日本舞踊村井流 竜優季会

本年度の予定

1月 新曲振付発表会 市施設
4月 村井流発表会 相馬市
6月 特老施設訪問
8月 特老施設訪問
9月 特老施設訪問
明るく楽しく、和やかに、豊かにをモットーとして、舞踊を通して価値ある人生、社会文化の向上に貢献できればと精励しております。

▽稽古場「修道館」
原町区大木戸字金場148
TEL 0244-2316711

◇日本舞踊 華仙流 鈴寿輔会

個人レッスンが中心ですが、

会員一同楽しく日舞を学んでおります。

6月18日(日)に実施予定の発表会(第13回華乃舞)〔会場ゆめはつと)に向けて頑張っております。

皆さまに喜んでいただけていますよう会員一同鍛錬しお待ちしております。

▽原町区青葉町二丁目92-2
TEL 0244-2313379

◇新日本舞踊 村井流 竜美香会

今年度上半期の予定は次のとおりです。

・相馬村井流発表会
4月23日(日) 相馬文化会館
▽原町区栄町3-97
TEL 090-6683-7326

◇日本舞踊・歌謡舞踊小藤流 晶の会

初歩的なことから長唄・民謡・歌謡などの曲に合わせて、舞踊を楽しむながら続けております。踊りの好きな方、一緒に踊ってみませんか。そして輝いてみませんか。

▽原町区大原字館沼131
TEL 080-6022-3394

生活文化部門

◇原町区華道連合会

華道5流より成る連合会です。草月流・未生流福島未生会・華道家元池坊原町会・原町龍生会・小原流の5流です。

今年度上期の行事は次のとおりです。

一 こどもいけばな教室
日本の伝統文化に対する関心や理解を深める目的で開催しております。

・対象者 市内小学1年生〜中学3年生 希望があるとき保護者も

・場所 原町区内の各生涯学習センター
・申込み5月、教室 6月〜3月

二 銘醸館いけばな協力

4月〜3月
三 原町区華道連合会 総会
6月

▽TEL 0244-2315607
(会長)

◇大日本茶道協会 原町支部

原町支部は、昭和30年11月23日に創立、今年で67年になりました。本会茶道の主旨は、丹田と気合を重んじ、心身一如の鍛練法をもって美しい容姿と誠の心を磨いてまいります。

今年度は、コロナ禍で取り止めていました年2回春・秋の鍛練茶会を開催する予定です。皆さまの御来席をお待ち申し上げております。

▽原町区栄町3-130
TEL 0244-2214204

◇原町山草会

陽春の候、日々暖かくなり、

私たちの散歩コース本陣山の河津桜が今満開に咲いており、道行く人々も、ゆつくり眺め楽しんでおります。わが家の庭にも鶯がホーホケキョと鳴いて春を告げにまいりました。

今年の春の展示会は、5月6日(土)7日(日)に「道の駅」にて開催いたします。去年の展示会も大変盛況で170名の方が御来観くださいました。今年もまた皆さまに喜んでいただける展示会にしたいと考えております。

▽原町区大町2-161
TEL 0244-2315048
(会長 遠藤磧一)

【芸文協です今年もよろこぶ】

◇芸文協って何？

南相馬市内の文化団体連合体が、南相馬市芸術文化協会です。芸文協は、芸術文化協会の略称で、小高区、鹿島区、原町区にそれぞれあります。わが原町区芸文協は、南相馬市から補助金の支援を受けつつ、会費を集めて、この芸文協だより「会報」の発行や「文化祭」(合同発表会)開催などの事業を行っています。東日本大震災で、団体数・会員数も半減したところにもコロナウイルスが蔓延し、開催場所にもこと欠き、活動が窮屈になりました。

◇文化活動の意味って？

最近、文化活動は単なる趣味ではなく生きがいであり、人と人を結ぶ絆ともなっています。よりよく生き、人と潤い分かち合い、人の心を癒し、自分も癒される、がんばるも耐えています。コロナ蔓延の終息は延びますが、に垣間見えないでしょうか。

◇文化活動を守るために

文化活動を守るためには、会員の数が増え、若返り続けることです。若い世代の方々の参加、あるいは、若い方々の団体の芸文協加入が必要です。皆さん、お待ちしています。